

令和4年度 調布市立調布中学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	
◎自ら学び深く考えよう ○身体を鍛えたくましく生きよう ○礼儀正しく思いやりの心をもとう ○勤労を重んじ進んで奉仕しよう	
目指す学校像(ビジョン) 例)学校像, 教員像, 児童・生徒像	
「生徒のびのび、保護者安心、地域自慢、教職員いきいき」 生徒・教職員の笑顔が溢れ、また明日来たくなる学校 「生徒のびのび」とは <ul style="list-style-type: none"> ・自分も他人も大切にする。 ・自ら考え、判断、行動する。 ・互いの個性を尊重し、仲間とともに磨き合う。 「保護者安心」とは <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止・アレルギー事故防止を徹底する。 ・家庭との連絡を密にする。 ・教育活動についての情報を適切に発信する。 「地域自慢」とは <ul style="list-style-type: none"> ・地域の会合で、学校の情報を積極的に発信する。 ・学校行事等を通じて、地域の方を学校に招き入れる。 「教職員いきいき」とは <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人を温かく見つめ、生徒のよい行いを認め・褒め・伸ばす。 ・教職員同士がお互いに磨き合い、高め合う。 ・報告・連絡・相談を適切に行い、一人で抱え込まず組織で生徒を育てる意識をもつ。 	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	現状：生徒は落ち着いて学校生活を送っており、主体性も育ってきている。 課題：不登校生徒や不登校気味の生徒が多い。

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	学び合いや話し合い活動を通して、生徒が学ぶ楽しさや達成感を得るだけでなく、情報を正確に理解し、考え、判断して表現、伝達する国語力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報を整理する→考える、判断する→表現する」流れを意識させながらインプットとアウトプットし、学び合いの場を設定していく。 ・思考ツールを使って、思考の視覚化を図る。 ・毎授業の振り返りをさせることで、生徒の実態を把握し、次の授業に生かしていく。
社会	知識を単純に覚えるということではなく、学習の知識を生活や経験に絡めながら理解する力や自分の考えを表現する力を育む。	<ul style="list-style-type: none"> ・写真資料や新聞記事など身近なものを題材に、話し合い活動などを通して、生徒個人の気づきからグループ学習、クラス学習などに広げていく。 ・振り返りや ICT の活用を行うことで、知識の定着や考え方の工夫が行えるようにしていく。
数学	生徒の実態を把握し、数学の学習を通して、より良い人間関係を形成し、様々な意見や考え方のやり取りをし、互いを認め合う力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎授業の振り返りをさせることで、生徒の実態を把握し、次の授業に生かしていく。 ・協同学習を通して、互いの意見や考えを出し合い、議論する場面を意図的に設定したり、考える力を育成する課題設定したりする。
理科	知識を覚えるだけでなく、実験や観察を通して実際の現象を確認したり、話し合いを通して様々な考え方に触れたりすることで理科の現象を理解する力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・実験を行い、レポートなどを用いて結果から考えられることをまとめる。 ・振り返りシートを用いて、学んだことをまとめ、次の授業に生かしていく。

<p>音楽</p>	<p>歌唱や器楽演奏、また鑑賞の活動を通して、音楽の良さを感じ取り、自ら主体的に音楽を生演奏しむことのできる態度を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱の活動においてパート練習をする際に、小集団での活動を行い、リーダーを中心に生徒主体で協力して音楽を作り上げ、ともに演奏する喜びを感じるとともに自主的に学習する態度を養う。 ・振り返りシートを用い、自らの考えを言語化する力を養う。
<p>美術</p>	<p>美術の基本的な技術の習得をベースとし、生徒が感じたことやイメージを具現化できる力を育成する。単元のまとめに互いの作品を鑑賞し、認め合うとともに自ら気づき、学ぶ姿勢を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとの冊子型のワークシートを作成し、課題の見通しを立てて学習する姿勢を育成する。 ・毎時間、生徒が相互に助け合い、ディスカッションできる環境を整備し、相互に学びあうように指導する。 ・講評会で互いの作品を鑑賞し、付箋でコメントし、他者の意見からふりかえりを行い、深い学びにつなげる。
<p>保健体育</p>	<p>運動が得意な生徒も、苦手な生徒も、運動に親しむことを第一に、生徒自らが主体的に活動し、積極性、協調性、思考・判断力、そして生涯を通して活用できる知識を習得する力を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共修を実践し、活動内容に応じたペア、グループ学習、視聴覚教材、教員配置、ローテーション練習等の工夫を行う。 ・学習カードや振り返りシート、ICTを活用し運動を視覚化、言語化、客観的にとらえられるようにする。 ・定期考査において記述問題等を設定し、活用された知識の定着を図る。
<p>技術・家庭</p>	<p><u>技術科</u> 実習や課題に対して、主体的に取り組み、課題を解決する力を養いながら、ものづくり等に意欲的に活動する生徒を育てる。</p> <p><u>家庭科</u> 自立に必要な衣食住に関心を持ち、生活の中で実践できる力を育む。</p>	<p><u>技術科</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習を中心に行い、実習の記録などを用いて結果から考えられることをまとめる。 ・振り返りシートを用いて、学んだことなどを言語化し、次の授業に生かしていく。 <p><u>家庭科</u> 個人では学習したことの振り返りや、話し合いでは人の意見を聞き、自分の考えを発展させる術を身につける。</p>
<p>英語</p>	<p>生徒が主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。少人数授業を活用し、生徒が他者との対話を通じて、互いに認め合い高め合う姿勢を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の授業において課題設定をし、ペアやグループ学習を通して、協力して課題を解決するしかけをつくる。 ・パフォーマンステストを行い、表現力を伸ばす指導を行う。 ・振り返りを行い、生徒の実態を把握し、次に生かす。 ・ノートづくりや宿題を通して家庭学習の定着を図る。
<p>道徳科</p>	<p>各学年の発達段階に応じて、自分自身に対する自覚を深め、より高い目標を立て、希望と勇気をもって着実にやりぬく強い意志をもとうとする態度を養う。また、温かい人間愛の精神を深めるとともに、謙虚に他に学ぶ広い心をもつ生徒を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の授業において、思考ツールを活用し自分の考えを整理してペアやグループで議論することにより、他者の意見から学びを深められるようにする。 ・毎時間の振り返りを行い、生徒の変容をみとるようにする。 ・ローテーション道徳を行い、教員自身も授業の質を上げることにより、生徒に身に着けてほしい資質能力を確実に身につけさせられるようにする。